

「生活騒音」で 周りの人に迷惑をかけていませんか？

■問い合わせ：環境対策課環境保全グループ ☎内線 424

「生活騒音って何だろう？」と思われた方もいると思いますが、皆さんが日常生活を送る上で出している音、それが生活騒音です。例えば、楽器やテレビの音・足音や話し声・ペットの鳴き声などが生活騒音になります。

音は同じ音であっても、全く気にならない人もいれば、不快に感じる人もいます。楽器の音などであれば心地よく感じる人もいるなど、その人の感覚によって大きく感じ方が異なります。

生活騒音は“お互いさま”という考え方をもちつつ、それに甘えるのではなく、一人一人のちょっとした気遣いや気配りで、トラブルを防ぐ事ができます。特に、窓を開ける機会が多いこの時期は、より配慮する必要があります。

生活騒音トラブルを防ぐ5つの気配り

- 1 時間帯に配慮しましょう
- 2 音が漏れない工夫をしましょう
- 3 音を小さくする工夫をしましょう
- 4 音の小さい機器を選びましょう
- 5 ご近所とのおつきあいを大切にしましょう

(((あなたの音))が周りの人に不快感を抱かせていたら…))

●音への気配りを忘れずに

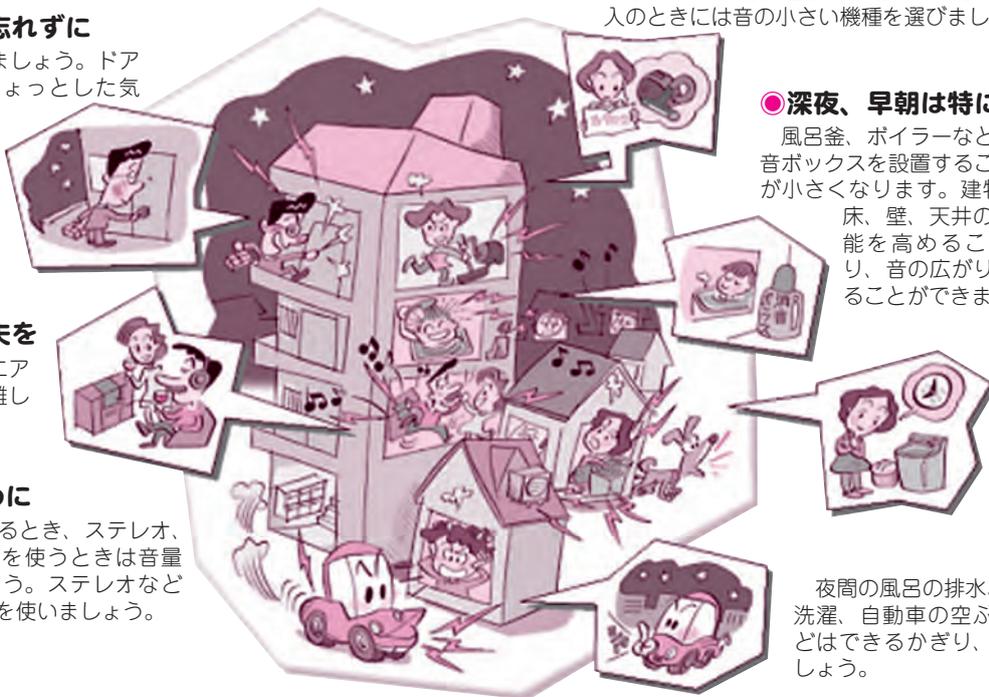
室内では静かに歩きましょう。ドアや窓の開け閉めにもちょっとした気配りを。大声での長話など、ご近所に迷惑をかけないようにしましょう。

●音源の配置に工夫を

ピアノ、ステレオ、エアコンなどは、隣家から離して置きましょう。

●音は控えめに

楽器を演奏するとき、ステレオ、テレビ、ラジオを使うときは音量に注意しましょう。ステレオなどではヘッドホンを使いましょう。



●より確実な騒音対策を

掃除機、洗濯機、エアコンなどには、品質表示ラベルに騒音値が表示されています。購入のときには音の小さい機種を選びましょう。

●深夜、早朝は特に注意

風呂釜、ボイラーなどは、消音ボックスを設置することで音が小さくなります。建物の窓、床、壁、天井の遮音性能を高めることにより、音の広がりを抑えることができます。

夜間の風呂の排水、掃除、洗濯、自動車の空ぶかしなどはできるかぎり、控えましょう。



●ご近所となかよく

日頃からあいさつをするなど、近所づきあいに心がけましょう。お互いを思いやる気持ちが静かさを作りだします。ルールづくりや申し合わせ、啓発活動など、地域ぐるみで生活騒音の防止に努めましょう。

●ペットの鳴き声

ペットの習性を知ってちゃんと飼いましょう。近隣に配慮し、しつけもしっかり行いましょう。

《環境省パンフレットをもとに作成》